

報告第 15 号

令和 5 年度

公益財団法人太宰府市国際交流協会の経営状況報告について

事業報告書

決 算 書

別紙のとおり報告する。

令和 6 年 8 月 27 日 提出

太宰府市長 楠 田 大 蔵

理 由

地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 243 条の 3 第 2 項の規定により議会に報告する。

公益財団法人太宰府市国際交流協会

目 次

	ページ
令和 5 年度 公益財団法人太宰府市国際交流協会事業報告書	1～10
令和 5 年度 公益財団法人太宰府市国際交流協会決算書	11～20
令和 5 年度 事業年度の業務及び財産の状況等監査報告書	21

令和 5 年度

事業報告書

自 令和 5 年 4 月 1 日

至 令和 6 年 3 月 3 1 日

公益財団法人太宰府市国際交流協会

事業報告書

本協会は、古代からアジアに開かれ、歴史、文化等が連綿と今日まで続いてきた太宰府ならではの地域性に鑑み、未来志向の国際交流を促進する活動を行うことにより、市民一人ひとりが個性、多様性を認め合いながら国際的な相互理解を深める多文化共生社会の実現を目指し、地域の発展と国際平和に貢献することを目的に、令和5年度は次の三つの事業を実施した。

今年度もウイルス感染症拡大防止に最大限注意を払いながら11事業について実施することができた。

ア 国際交流促進事業・・・7事業

イ 外国人学生支援事業・・・2事業

ウ 在住外国人支援事業・・・2事業

ア 国際交流促進事業

1. フレンズベル倶楽部メンバーの集い

3年ぶりに、前年度事業報告、今後の活動方針の報告を行う総会及び、当協会の賛助会員および留学生、在住外国人との交流の場として開催。事業報告後は留学生による民族衣装によるファッションショーを行い、「太宰府いきいき子ども食堂」にお寿司、おはぎ等を作ってもらい、留学生、在住外国人と賛助会員が交流した。

開催日；令和5年6月25日（日）

時 間；12時30分～15時00分

場 所；太宰府市いきいき情報センター205～207号室

内 容；第1部、総会、第2部、交流会（ファッションショー、食事）

参加者；80名（内訳；ネパール2名、ベトナム9名、中国5名、タイ2名、バングラディッシュ1名、韓国3名、エルサルバドル4名、香港1名、インド2名、アイルランド1名、アメリカ1名、賛助会員（子ども含む29人）、評議員、理事、事務局20名）

2. 太宰府市民政庁まつり出展

4年ぶりの開催となった太宰府市民政庁まつりに、協会PRのために出展し、協会リーフレットの配布や、募金者へ風船を配布。（風船を1,500個準備）。また、国際理解を深めるため民族衣装の顔出しパネルや国旗当てクイズコーナー等を設置し、市民との交流の場を設けた。

集まった募金は、一般財団法人風に立つライオン基金（41,775円）へ寄付。

開催日；令和5年9月30日（土）

時 間；10時00分～17時00分

場 所； 特別史跡太宰府政庁跡

来場者； 約1,000名 （理事・事務局14名）

3. 世界文化体験講座

太宰府市国際交流員 金辛沄さんを講師に迎え、韓国料理教室を開催。スンドゥブチゲとプルコギを作り、日本経済大学ベトナム留学生の「イエン」さんと「レ」さんも講師として参加し、ベトナム伝統ぜんざいも作り振舞われた。

国際交流員が韓国語での挨拶などの講話を行い、出席者全員で韓国文化に親しみ交流を深めた。

開催日；令和5年10月21日（土）

時 間；10時00分～14時00分

場 所；太宰府市いきいき情報センター 調理室

参加者；31名（内訳；韓国3名、ベトナム4名、高校生3名、賛助会員11名、理事、事務局10名）

4. 国際理解講座

(1) 交流サロン

「太宰府日本語教室ことだまの会」と協働してサロンを実施。

パキスタン人の「シャジー」さんが作ったパキスタンカレーを皆で食しながらハラルについても学ぶことにより、異文化を体験した。

開催日；令和5年7月24日（月）

時 間；11時30分～12時50分

場 所；太宰府市いきいき情報センター 調理室・和室

参加者；34名（内訳；会員8名、非会員12名、エルサルバドル4名、香港1名、エジプト2名、中国1名、パキスタン1名、理事事務局5名）

(2) 国際理解講演会

新聞・テレビなどで活躍されている北九州市立大学准教授のアン・クレシーニさんを講師に迎え、「多文化共生のまちづくりを目指して」と題し講演会を開催した。

開催日；令和5年9月16日（土）

時 間；14時00分～15時30分

場 所；太宰府館まほろばホール

講 師；アン・クレシーニ さん（北九州市立大学 准教授）

参加者；78名（外国人4名、理事5名、課1名、事務局2名）

5. 広報啓発事業

(1) パンフレット、資料収集・提供

- ・協会事務局窓口や太宰府市いきいき情報センター、太宰府館等の公共施設に国際交流関連の刊行物や資料を配架し、協会のPR、国際交流の啓発を図った。
- ・より多くの市民にまずは事務局の存在に関心を持ってもらえるよう、協会事務局窓口に多言語や国際交流に関するフリーペーパーを集めるなど配架内容の見直しを実施した。
- ・太宰府市庁舎1階市民ギャラリーにて協会事業報告パネル展を開催した。
- ・現在加入している福岡国際関係団体連絡会（FUKU-NET）ほか各種国際交流関係団体や近隣の他市国際交流協会等他団体との連携を図り、資料収集や情報交換を行った。

<他団体連携参画会議一覧>

	開催日	参加会議等	場 所	主 催
1	令和5年7月14日 (金)	初任管理職員研修会	リモート会議	(公財)助成財団センター
2	令和6年1月24日 (水)～2月14日(水)	「公益法人・一般法人会計(基礎編)」	リモート会議	(公財) 公益法人協会
3	令和6年1月29日 (月)	令和5年度市町村国際交流団体会議	アクロス福岡3F	(公財)福岡県国際交流センター
4	令和6年2月15日 (木)	令和5年度筑紫地区企業・事業所同和問題研修会	筑紫野市生涯学習センター	筑紫地区企業同和問題推進委員会
5	令和6年2月15日 (木)	令和5年度都道府県・市区町村等日本語教育担当者研修	リモート会議	文化庁 国語課 地域日本語教育推進室

(2) 機関紙の発行

- ・賛助会員会報「フレンズベルNEWS」を12回発行

(3) ホームページ情報発信

- ・本協会のホームページにて、協会の事業や活動を広くアピールしていくための情報発信。
○ホームページアドレス；http；//www.dciea.or.jp/
○X(旧Twitter)アカウント；(公財)太宰府市国際交流協会(DCIEA)@DazaifuCIEA

6. 国際理解教育支援事業

令和5年度は外部団体による派遣要請はなかった。

7. 国際交流団体への活動助成

令和5年度は申請はなかった。

8. ホストファミリー事業

近年はアジア太平洋こども会議からの受け入れ要請があっていないので現在は休止状態である。

そのため受け入れ態勢やシステムも休止している。

9. 市内並びに近隣の国際交流団体が行う交流事業への共催、後援等の実施

計2団体

① 第42回太宰府少年の船

申請日；令和5年3月6日（後援決定日3月8日）

開催日；令和5年8月9日（水）～13日（日）

主 催；太宰府少年の船協会

② 『「ミニ万博」in 福岡』協力及び資料配布依頼(協力)

申請日；令和5年10月20日

内 容；生徒主催による「ミニ万博 in 福岡」

主 催；筑陽学園高等学校

イ 外国人学生支援事業

1. 留学生フォーラム

「外国人留学生のための防災講座」として福岡県国際政策課と共同で福岡市民防災センターにおいて実施した。

開催日；令和6年1月8日（月祝）

時 間；8時40分～14時00分

場 所；福岡市民防災センター

参加者；27名（内訳；ネパール5名、韓国3名、中国4名、スペイン1名、エルサルバドル1名、イギリス1名、理事・事務局12名）

2. 日本文化体験講座

梅ヶ枝餅の故事や成り立ちなどについて説明を受けた後、太宰府の「食」を代表する梅ヶ枝餅焼き体験及び太宰府市いきいき情報センターの茶道教室の先生及び生徒の協力により茶道を体験した。

開催日；令和6年2月3日（土）

時 間；13時00分～16時00分

場 所；太宰府館調理室及び和室

参加者；32名（ネパール4名、韓国10名、中国1名、スペイン1名、ベトナム1名、筑紫台高校4名、理事・事務局11名）

ウ 在住外国人支援事業

1. 日本語教室支援

太宰府日本語教室ことだまの会に委託し、在住外国人を対象に日本語の習熟ならびに日本文化や生活習慣を学ぶ場として「太宰府にほんご教室」を毎週月曜日に太宰府市いきいき情報センターにて実施した。

委託先；太宰府日本語教室ことだまの会

回 数；年間 40 回

曜日時間；毎週月曜日 10 時 00 分～12 時 10 分

場 所；太宰府市いきいき情報センター 2 階 209 号室

学習者；1 回あたり 6 名～15 名（入会者 22 名、年間延べ 380 人受講）

出身国；14 か国（中国、台湾、ウクライナ、エルサルバドル、スリランカ、ナイジェリア外南米 2 カ国、エジプト、アラブ、フィリピン、スペイン、フィジー、ドイツ）

スタッフ；8 名（常時講師 8 名）

・日本語教室「ことだまの会」日本の文化体験 秋の紅葉バスハイク（引率）

恒例となった日本語教室「ことだまの会」主催による日本の文化体験「秋の紅葉バスハイク」に帯同し、留学生をサポートした。

開催日；令和 5 年 11 月 27 日（月）

時 間；10 時 00 分～15 時 00 分

場 所；秋月、筑前町

参加者；31 名

2. 生活情報ガイドブック

本協会と太宰府市が共同で作成している「外国人のための太宰府市生活情報ガイドブック」の日本語版、英語版、中国語版、韓国語版、ベトナム語版、やさしい日本語版を市役所や当協会に配架している。また留学生が在籍する市内 3 大学（筑紫女学園大・日本経済大・九州情報大）に配架した。

その他在住外国人等の支援のために太宰府市から本協会に依頼があった通訳・翻訳（一部は本協会のボランティア登録者に依頼）は 4 件。

《生活情報等に関する通訳・翻訳の受託》

	時 期	依頼者	内 容
1	令和 5 年 5 月	国際・交流課	「太宰府市の概要」（日→英）
2	令和 5 年 6 月	国際・交流課	「太宰府市の概要」（日→簡体）
3	令和 5 年 12 月	観光推進課	デジタルサイネージ用（日→英、韓、簡体、繁体）

	時 期	依頼者	内 容
4	令和 6 年 2 月	観光推進課	観光マナー啓発ステッカー（日→英、韓、簡体、繁体）

令和5年度公益財団法人太宰府市国際交流協会会議開催状況

○評議員会

第1回評議員会

令和5年6月22日（木）13時30分～14時30分 太宰府市役所3階庁議室

第2回評議員会

令和6年3月26日（木）13時30分～14時10分 太宰府市役所3階庁議室

○理事会

第1回理事会

令和5年5月23日（火）18時30分～19時28分 太宰府市いきいき情報センター2階

第2回理事会

令和5年7月19日（水）18時30分～18時52分 太宰府市いきいき情報センター2階

第3回理事会

令和5年11月16日（木）18時30分～19時00分 太宰府市いきいき情報センター2階

第4回理事会

令和6年2月20日（火）18時30分～19時05分 太宰府市いきいき情報センター2階

○監査

令和5年5月17日（水）13時30分～15時00分 太宰府市いきいき情報センター2階
(公財)太宰府市国際交流協会事務室

○運営委員会

第1回運営委員会

令和5年4月19日（水）18時33分～19時56分 太宰府市いきいき情報センター

第2回運営委員会

令和5年5月23日（火）19時30分～20時28分 太宰府市いきいき情報センター

第3回運営委員会

令和5年6月16日（金）18時34分～19時56分 太宰府市いきいき情報センター

第4回運営委員会

令和5年7月19日（水）19時00分～20時00分 太宰府市いきいき情報センター

第5回運営委員会

令和5年9月5日（火）18時30分～19時40分 太宰府市いきいき情報センター

第6回運営委員会

令和5年10月11日（水）18時32分～20時30分 太宰府市いきいき情報センター

第7回運営委員会

令和5年11月16日（木）19時05分～20時45分 太宰府市いきいき情報センター

第8回運営委員会

令和5年12月12日（火）18時30分～19時30分 太宰府市いきいき情報センター

第9回運営委員会

令和6年2月20日（火）19時10分～20時05分 太宰府市いきいき情報センター

事業報告の附属明細書

事業報告を補足する重要な事項はない。

令和5年度

決算書

公益財団法人 太宰府市国際交流協会

貸借対照表

令和 6年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	1,245,155	958,767	286,388
貯蔵品	5,864	7,524	△ 1,660
前払費用	20,000	20,000	0
流動資産合計	1,271,019	986,291	284,728
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	10,000,000	10,000,000	0
基本財産合計	10,000,000	10,000,000	0
(2) 特定資産			
特定資産合計	0	0	0
(3) その他固定資産			
什器備品	281,045	136,337	144,708
その他固定資産合計	281,045	136,337	144,708
固定資産合計	10,281,045	10,136,337	144,708
資産合計	11,552,064	11,122,628	429,436
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	325,508	102,306	223,202
前受金	3,000	20,000	△ 17,000
預り金	69,110	18,181	50,929
流動負債合計	397,618	140,487	257,131
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	397,618	140,487	257,131
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	10,000,000	10,000,000	0
指定正味財産合計	10,000,000	10,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(10,000,000)	(10,000,000)	0
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	1,154,446	982,141	172,305
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	11,154,446	10,982,141	172,305
負債及び正味財産合計	11,552,064	11,122,628	429,436

正味財産増減計算書

令和 5年 4月 1日 から令和 6年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	200	200	0
受取会費			
一般会員受取会費	390,500	440,000	△ 49,500
事業収益			
国際交流促進事業収入	32,300	383,664	△ 351,364
外国人学生支援事業収入	5,100	3,800	1,300
受取補助金等			
受取地方公共団体補助金	5,500,000	6,400,000	△ 900,000
受取寄付金			
受取寄付金	0	10,000	△ 10,000
雑収益			
受取利息	13	14	△ 1
その他	0	2,552	△ 2,552
経常収益計	5,928,113	7,240,230	△ 1,312,117
(2) 経常費用			
事業費			
賃金	1,061,515	1,054,922	6,593
賞与	75,745	77,950	△ 2,205
福利厚生費	180,367	193,410	△ 13,043
旅費交通費	98,200	87,640	10,560
通信運搬費	184,797	264,742	△ 79,945
減価償却費	27,646	25,562	2,084
消耗品費	584,474	269,261	315,213
印刷製本費	188,273	705,650	△ 517,377
賃借料	243,313	269,797	△ 26,484
会場使用料	36,110	83,250	△ 47,140
交際費	13,000	13,000	0
保険料	29,400	34,300	△ 4,900
諸謝金	131,000	1,065,900	△ 934,900
支払負担金	4,000	4,000	0
支払助成金	0	24,769	△ 24,769
委託費	310,000	489,800	△ 179,800
研修費	12,000	0	12,000
雑費	9,712	8,494	1,218
事業費計	3,189,552	4,672,447	△ 1,482,895

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
管理費			
賃金	1,061,519	1,054,928	6,591
賞与	75,745	77,950	△ 2,205
福利厚生費	180,367	193,421	△ 13,054
旅費交通費	157,360	186,960	△ 29,600
通信運搬費	87,066	98,260	△ 11,194
減価償却費	27,646	25,563	2,083
消耗品費	134,782	66,391	68,391
印刷製本費	5,327	6,050	△ 723
賃借料	243,321	269,805	△ 26,484
会場使用料	8,480	4,660	3,820
租税公課	600	0	600
委託費	528,000	528,000	0
研修費	18,700	0	18,700
雑費	37,343	36,920	423
管理費計	2,566,256	2,548,908	17,348
経常費用計	5,755,808	7,221,355	△ 1,465,547
当期経常増減額	172,305	18,875	153,430
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	172,305	18,875	153,430
当期一般正味財産増減額	172,305	18,875	153,430
一般正味財産期首残高	982,141	963,266	18,875
一般正味財産期末残高	1,154,446	982,141	172,305
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	200	200	0
一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	△ 200	△ 200	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	10,000,000	10,000,000	0
指定正味財産期末残高	10,000,000	10,000,000	0
Ⅲ 正味財産期末残高	11,154,446	10,982,141	172,305

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法
什器備品・・・・・・定額法によっている。

(2) 消費税等の会計処理
消費税等の処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高
基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	10,000,000	0	0	10,000,000
小 計	10,000,000	0	0	10,000,000
特定資産				
—	—	—	—	—
小 計	—	—	—	—
合 計	10,000,000	0	0	10,000,000

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳
基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	10,000,000	(10,000,000)	0	0
小 計	10,000,000	(10,000,000)	0	0
特定資産				
—	—	—	—	—
小 計	—	—	—	—
合 計	10,000,000	(10,000,000)	0	—

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	807,877	526,832	281,045

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表計上の記載区分
補助金						
運営費補助金	太宰府市	0	5,500,000	5,500,000	0	一般正味財産
合 計						

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息	200
小 計	200
合 計	200

令和5年度

附属明細書

公益財団法人 太宰府市国際交流協会

附属明細書

1. 重要な固定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	定期預金	10,000,000	0	0	10,000,000
	基本財産計	10,000,000	0	0	10,000,000
その他固定資産	什器備品	136,337	200,000	55,292	281,045
	その他固定資産計	136,337	200,000	55,292	281,045

令和5年度

財産目録

財 産 目 録

令和 6年 3月 31日 現在

(単位：円)

貸 借 対 照 表 科 目		場 所 ・ 物 量 等	使用目的等	金 額
(流動資産)	現金	手元保管	小口現金として	23, 276
	普通預金	西日本シティ銀行 五条支店	運転資金として	981, 564
	普通預金	ゆうちょ銀行郵便振替口座	賛助会費用口座として	240, 315
	貯藏品	切手	通信運搬費として	5, 864
	前払費用	東京海上日動火災保険(株)	令和6年度傷害保険	20, 000
流動資産合計				1, 271, 019
(固定資産)				
基本財産	定期預金	西日本シティ銀行 五条支店	基本財産として保有	10, 000, 000
その他固定資産	什器備品	ノートパソコン1台、 デスクトップパソコン4台	業務に使用している	281, 045
固定資産合計				10, 281, 045
資産合計				11, 552, 064
(流動負債)	未払金	(株)アスクル	消耗品代	14, 117
	未払金	井上紙工(株)	リーフレット印刷代	166, 100
	未払金	楽天モバイル(株)	携帯電話使用料	3, 511
	未払金	富士ゼロックス福岡(株)	コピー機使用料	35, 721
	未払金	南福岡年金事務所	社会保険料	49, 736
	未払金	NTT西日本	固定電話料金	4, 375
	未払金	NTT西日本	インターネット通信料	6, 127
	未払金	ソフトバンク(株)	携帯電話使用料	71
	未払金	NTTコミュニケーションズ(株)	ホームページサーバー使用料	3, 520
	未払金	アマゾン	民族衣装購入代	42, 230
	前受金	賛助会員に対するもの	令和6年度賛助会費として	3, 000
	預り金	職員	社会保険料預り金	48, 768
	預り金	職員	源泉所得税預り金	20, 342
流動負債合計				397, 618
固定負債合計				0
負債合計				397, 618
正味財産				11, 154, 446

公益財団法人 太宰府市国際交流協会

正味財産増減計算書内訳表
令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

令和6年5月18日

		(単位：円)		
科 目		公益目的事業会計	法人会計	合計
		国際交流事業		
I	一般正味財産増減の部			
1	経常増減の部			
(1)	経常収益			
	基本財産運用益			
	基本財産受取利息	200		200
	受取会費			
	一般会員受取会費	260,500	130,000	390,500
	事業収益			
	国際交流促進事業収入	32,300		32,300
	外国人学生支援事業収入	5,100		5,100
	受取補助金			
	受取地方公共団体補助金	2,750,000	2,750,000	5,500,000
	受取寄付金			
	受取寄付金	0		0
	雑収益			
	受取利息	13		13
	経常収益計	3,048,113	2,880,000	5,928,113
(2)	経常費用			
	事業費			
	賃金	1,061,515		1,061,515
	賞与	75,745		75,745
	福利厚生費	180,367		180,367
	旅費交通費	98,200		98,200
	通信運搬費	184,797		184,797
	減価償却費	27,646		27,646
	消耗品費	584,474		584,474
	印刷製本費	188,273		188,273
	賃借料	243,313		243,313
	会場使用料	36,110		36,110
	交際費	13,000		13,000
	保険料	29,400		29,400
	諸謝金	131,000		131,000
	支払負担金	4,000		4,000
	委託費	310,000		310,000
	研修費	12,000		12,000
	雑費	9,712		9,712
	事業費計	3,189,552		3,189,552
	管理費			
	賃金		1,061,519	1,061,519
	賞与		75,745	75,745
	福利厚生費		180,367	180,367
	旅費交通費		157,360	157,360
	通信運搬費		87,066	87,066
	減価償却費		27,646	27,646
	消耗品費		134,782	134,782
	印刷製本費		5,327	5,327
	賃借料		243,321	243,321
	租税公課		600	600
	会場使用料		8,480	8,480
	委託費		528,000	528,000
	研修費		18,700	18,700
	雑費		37,343	37,343
	管理費計		2,566,256	2,566,256
	経常費用計	3,189,552	2,566,256	5,755,808
	当期経常増減額	△ 141,439	313,744	172,305
2	経常外損益の部			
①	経常外収益			
	経常外収益計			0
②	経常外費用			
	経常外費用計			0
	当期一般正味財産増減額			172,305
	一般正味財産期首残高			982,141
	一般正味財産期末残高			1,154,446
II	指定正味財産増減の部			
①	基本財産運用益			
	基本財産受取額	200		200
②	一般正味財産への振替額			
	一般正味財産への振替額	△ 200		△ 200
	当期指定正味財産増減額			0
	指定正味財産期首残高			10,000,000
	指定正味財産期末残高			10,000,000
III	正味財産期末残高			11,154,446

公益財団法人太宰府市国際交流協会

理事長 松下 博文 様

公益財団法人太宰府市国際交流協会

監事 宮原 勝美

監事 山本 祥子

令和5年4月1日から令和6年3月31日までの事業年度の業務及び財産の状況等を監査いたしました。

その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2. 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況を適正に示しているものと認めます。

令和 6 年度

事業計画書

収支予算書

公益財団法人太宰府市国際交流協会

目 次

	ページ
令和 6 年度 公益財団法人太宰府市国際交流協会事業計画書	1～4
令和 6 年度 公益財団法人太宰府市国際交流協会収支予算書	5～10

令和 6 年度

事業計画書

公益財団法人太宰府市国際交流協会

令和 6 年度

公益財団法人太宰府市国際交流協会事業計画書

1 基本方針

本協会は、平成 4 年の設立以来、市民一人ひとりが個性、多様性を認め合いながら国際的な相互理解を深める多文化共生社会の実現に向け、地域の発展と国際平和への貢献を目的としており、古代からアジアに開かれ、歴史、文化等が連綿と今日まで続いてきた太宰府ならではの地域性に鑑み、未来志向の国際交流を促進する活動を行っている。

活動内容としては、本協会が本市の国際交流の中核的組織であることから、市民、関係団体、行政などとの連携を図りながら、「市民の国際交流を促進する事業」、「外国人学生を支援する事業」、「在住外国人を支援する事業」の 3 つの分野における事業を展開しているところである。

昨今、世界中で政治、経済、民族、宗教や文化等異なる価値観によるひずみが広がっている。このような中、国際的な交流による相互理解が果たす役割は大きくなっている。

令和 6 年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止と社会経済活動の維持の持続的な両立を図りながら、これまでの事業の更なる充実を図り、外国人と市民との魅力ある交流をとおして、時代に沿った事業展開のための情報収集や情報発信を積極的に行っていく。

2 公益目的事業

ア 国際交流促進事業

1. フレンズベル倶楽部メンバーのつどい

年間事業報告や今後の活動方針などの報告を行い、賛助会員、一般参加者、留学生、在住外国人の交流の促進を目的として開催する。

2. 太宰府市民政庁まつり出展

太宰府市民政庁まつりにおいて、来場者を対象に国際交流の普及啓発を目的として、協会の活動や外国文化等を紹介するスペースを設け、市民の国際化に対する関心を高めるとともに、留学生や在住外国人との交流の場とする。また、戦災や飢餓あるいは突然の災害により被災し、悲惨な状況にある国や地域の復興の一助として、会場で紹介するとともに募金

活動を行い、地域貢献を図る。

3. 世界文化体験講座

外国人講師もしくは、外国の言語や文化に精通した講師による外国の言語や文化の紹介を行い、外国への興味相互理解を図るために体験型の交流を通じた講座を開催する。

4. 国際理解講座

賛助会員や日本人市民を対象に、外国の文化、価値観を理解してもらうことを目的とした講演会や外国人と日本人市民との交流を交えた講座や国際交流サロン等を開催する。

5. 広報啓発事業

(1) パンフレット、資料収集・提供

- ・協会事務局窓口や太宰府市庁舎等の公共施設に国際交流関連の刊行物や資料を配架し、協会の P R、国際交流の啓発を図る。
- ・太宰府市いきいき情報センターおよび太宰府市庁舎 1 階市民ギャラリーにて協会事業報告パネル展を開催する。
- ・各種国際交流関係団体や近隣の他市国際交流協会等他団体との連携を図り、資料収集や情報交換を行う。

(2) 機関紙の発行

- ・賛助会員会報「フレンズベル NEWS」を発行し、協会活動の周知を図る。

(3) ホームページ情報発信

- ・本協会のホームページにて協会の事業や活動を広く P R するための情報発信を行う。ホームページアドレス：http://www.dciea.or.jp

6. 国際理解教育支援事業

市内の小中学校等で行われる国際理解教育等のボランティア講師（ゲストティーチャー）として、小中学校等の要請により、外国人および留学生を派遣し、子どもたちの国際化への関心を高め国際理解の促進を図る。

7. 国際交流団体への活動助成

市内で活動している団体等が、自主的に企画・立案・実施する国際交流事業に対して助成を行い、市民レベルの国際交流の推進を図る。助成金は別に定める補助対象経費の 2 分の 1 以内、限度額 5 万円とし、助成事業の積極的な広報を行う。

8. ホストファミリー事業

国際交流団体等からの要請により、日本の家庭（ホストファミリー）に

ホームステイ（宿泊）、ホームビジット（日帰り）の斡旋を行い、外国人と日本人との交流の促進を図る事業として実施する。

9. 市内並びに近隣の国際交流団体が行う交流事業への共催、後援
市内で活動する団体が、自主的に実施する国際交流事業に対し共催、後援を行い、国際交流及び国際理解の促進を図る。
10. 姉妹都市韓国扶餘郡への「市民訪問団」派遣事業。
周年事業の一環として、太宰府市との姉妹都市である韓国扶餘郡へ太宰府市民による訪問団を結成し、扶餘郡の歴史、文化をとおして姉妹都市のより一層の深化を図る。

イ 外国人学生支援事業

1. 留学生フォーラム
外国人留学生が抱える問題を把握し、解決していくために、相談会および支援内容に沿った講座を開催する。
2. 日本文化体験講座
市民と外国人留学生との相互理解を図るために、日本でしか体験できない文化・スポーツ・料理・歴史（史跡）散策・体験施設訪問等、体験型の講座を開催する。

ウ 在住外国人支援事業

1. 日本語教室支援
在住外国人を対象に、日本語の習熟ならびに日本文化や生活習慣を学ぶ場として太宰府日本語教室「ことだまの会」に委託し、日本語教室を太宰府市と共催で毎週月曜日に太宰府市いきいき情報センターにて実施する。
2. 生活情報ガイドブック
在住外国人の太宰府市における生活の利便性向上のために、太宰府市と共同で作成している「外国人のための太宰府市生活情報ガイドブック」の情報について、必要に応じて情報収集および更新を行う。

令和6年度

収支予算書

公益財団法人太宰府市国際交流協会

収支予算書(正味財産増減予算書)

2024年4月1日から2025年3月31日まで

(単位:円)			
科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1)経常収益			
①基本財産運用益	1,000	1,000	0
基本財産受取利息	1,000	1,000	0
②特定資産運用益	0	0	0
特定資産受取利息	0	0	0
③受取会費	420,000	435,000	△ 15,000
一般会員受取会費	420,000	435,000	△ 15,000
④事業収益	40,000	40,000	0
国際交流事業収入	30,000	30,000	0
外国人学生支援事業収入	10,000	10,000	0
在住外国人支援事業収入	0	0	0
⑤受取補助金等	5,500,000	5,500,000	0
地方公共団体補助金	5,500,000	5,500,000	0
民間団体助成金	0	0	0
⑥受取寄付金	0	0	0
受取寄付金	0	0	0
⑦雑収益	2,000	2,000	0
受取利息	1,000	1,000	0
雑収益	1,000	1,000	0
⑧その他の収入	0	0	0
その他の収入	0	0	0
経常収益計	5,963,000	5,978,000	△ 15,000
(2)経常費用			
①事業費	3,787,000	3,546,000	241,000
賃金	1,184,000	1,224,000	△ 40,000
福利厚生費	188,000	176,000	12,000
会議費	0	0	0
旅費交通費	113,000	116,000	△ 3,000
通信運搬費	261,000	239,000	22,000
消耗品費	525,000	550,000	△ 25,000
消耗什器備品費	0	0	0
印刷製本費	135,000	135,000	0
会場使用料	86,000	104,000	△ 18,000
交際費	20,000	30,000	△ 10,000
賃借料	191,000	203,000	△ 12,000
保険料	25,000	34,000	△ 9,000
諸謝金	296,000	271,000	25,000
支払負担金	4,000	4,000	0
助成金	100,000	100,000	0
委託費	300,000	300,000	0
研修費	320,000	20,000	300,000
修繕費	0	0	0
雑費	13,000	14,000	△ 1,000
減価償却費	26,000	26,000	0

(単位:円)			
科 目	当年度	前年度	増減
②管理費	2,501,000	2,532,000	△ 31,000
役員報酬	0	0	0
賃金	1,121,000	1,173,000	△ 52,000
福利厚生費	198,000	177,000	21,000
会議費	15,000	15,000	0
旅費交通費	220,000	220,000	0
通信運搬費	90,000	90,000	0
消耗什器備品費	0	0	0
消耗品費	30,000	30,000	0
印刷製本費	10,000	10,000	0
会場使用料	15,000	15,000	0
交際費	20,000	20,000	0
賃借料	183,000	183,000	0
委託費	528,000	528,000	0
支払負担金	10,000	10,000	0
支払寄付金	0	0	0
支払利息	0	0	0
租税公課	0	0	0
研修費	0	0	0
修繕費	0	0	0
雑費	35,000	35,000	0
減価償却費	26,000	26,000	0
経常費用計	6,288,000	6,078,000	210,000
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 325,000	△ 100,000	△ 225,000
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 325,000	△ 100,000	△ 225,000
2 経常外増減の部			
(1)経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2)経常外費用			
経常外収益計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 325,000	△ 100,000	△ 225,000
一般正味財産期首残高	1,234,521	1,334,521	△ 100,000
一般正味財産期末残高	909,521	1,234,521	△ 325,000
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	1,000	1,000	0
一般正味財産への振替額	△ 1,000	△ 1,000	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	10,000,000	10,000,000	0
指定正味財産期末残高	10,000,000	10,000,000	0
III 正味財産期末残高	10,909,521	11,234,521	△ 325,000

予算書(正味財産増減計算ベース)内訳書

2024年4月1日から2025年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計					法人会計	内部取引消去	合計
	国際交流促進事業	外国人学生支援事業	在在外国人支援事業	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部								
1 経常増減の部								
(1)経常収益								
基本財産運用益	0	0	0	0	0	1,000		1,000
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0		0
受取会費	0	0	0	260,000	260,000	160,000		420,000
事業収益	30,000	10,000	0	0	40,000	0		40,000
受取補助金等	0	0	0	3,000,000	3,000,000	2,500,000		5,500,000
受取寄付金	0	0	0	0	0	0		0
雑収益	0	0	0	0	0	2,000		2,000
その他の収入	0	0	0	0	0	0		0
経常収益計	30,000	10,000	0	3,260,000	3,300,000	2,663,000		5,963,000
(2)経常費用								
事業費	1,240,000	216,000	475,000	1,856,000	3,787,000	0		3,787,000
役員報酬	0	0	0	0	0	0		0
賃金	0	0	0	1,184,000	1,184,000	0		1,184,000
福利厚生費	0	0	0	188,000	188,000	0		188,000
会議費	0	0	0	0	0	0		0
旅費交通費	82,000	26,000	5,000	0	113,000	0		113,000
通信運搬費	87,000	12,000	2,000	160,000	261,000	0		261,000
消耗品費	350,000	80,000	10,000	85,000	525,000	0		525,000
消耗什器備品費	0	0	0	0	0	0		0
印刷製本費	10,000	0	110,000	15,000	135,000	0		135,000
会場使用料	63,000	23,000	0	0	86,000	0		86,000
交際費	20,000	0	0	0	20,000	0		20,000
賃借料	10,000	0	0	181,000	191,000	0		191,000
保険料	17,000	8,000	0	0	25,000	0		25,000
諸謝金	190,000	65,000	26,000	15,000	296,000	0		296,000
支払負担金	4,000	0	0	0	4,000	0		4,000
助成金	100,000	0	0	0	100,000	0		100,000
委託費	0	0	300,000	0	300,000	0		300,000
研修費	300,000	0	20,000	0	320,000	0		320,000
修繕費	0	0	0	0	0	0		0
雑費	7,000	2,000	2,000	2,000	13,000	0		13,000
減価償却費	0	0	0	26,000	26,000	0		26,000
管理費	0	0	0	0	0	2,501,000		2,501,000
役員報酬	0	0	0	0	0	0		0
賃金	0	0	0	0	0	1,121,000		1,121,000
福利厚生費	0	0	0	0	0	198,000		198,000
会議費	0	0	0	0	0	15,000		15,000
旅費交通費	0	0	0	0	0	220,000		220,000
通信運搬費	0	0	0	0	0	90,000		90,000
消耗什器備品費	0	0	0	0	0	0		0
消耗品費	0	0	0	0	0	30,000		30,000
印刷製本費	0	0	0	0	0	10,000		10,000
会場使用料	0	0	0	0	0	15,000		15,000
交際費	0	0	0	0	0	20,000		20,000
賃借料	0	0	0	0	0	183,000		183,000
支払負担金	0	0	0	0	0	10,000		10,000
支払寄付金	0	0	0	0	0	0		0
支払利息	0	0	0	0	0	0		0
委託費	0	0	0	0	0	528,000		528,000
研修費	0	0	0	0	0	0		0
租税公課	0	0	0	0	0	0		0
修繕費	0	0	0	0	0	0		0
雑費	0	0	0	0	0	35,000		35,000
減価償却費	0	0	0	0	0	26,000		26,000
経常費用計	1,240,000	216,000	475,000	1,856,000	3,787,000	2,501,000		6,288,000

令和6年度 資金調達及び設備投資の見込み

2024年4月1日から2025年3月31日まで

1 資金調達の見込みについて

当期間中における借入れの予定はない。

2 設備投資の見込みについて

当期間中における設備投資の予定はない。

(単位:円)								
科 目	公益目的事業会計					法人会計	内部取引 消去	合計
	国際交流促進 事業	外国人学生支 援事業	在住外国人支 援事業	共通	小計			
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,210,000	△ 206,000	△ 475,000	1,404,000	△ 487,000	162,000		△ 325,000
評価損益等計	0	0	0	0	0	0		0
当期経常増減額	△ 1,210,000	△ 206,000	△ 475,000	1,404,000	△ 487,000	162,000		△ 325,000
2 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計								0
(2) 経常外費用								
経常外費用計								0
当期経常外増減額								0
当期一般正味財産増減額								0
一般正味財産期首残高								1,234,521
一般正味財産期末残高								909,521
II 指定正味財産増減の部								
基本財産運用益								
基本財産受取利息								1,000
一般正味財産への振替額								
一般正味財産への振替額								△ 1,000
当期指定正味財産増減額								0
指定正味財産期首残高								10,000,000
指定正味財産期末残高								10,000,000
III 正味財産期末残高								10,909,521